



夏季手当要求を堂々と掲げて正当な還元を求めよう！ 私たちが求めなければ、現在も将来も報われない！

社内では、あらゆる場で「変革」が唱えられ『今年度の黒字化』を至上命題に“稼ぐ”を前面に打ち出し、構造改革を行うことも示しています。

会社は“赤字”を誇張する手法で社員に不安や危機感をあおっていますが、それに対して私たちが「今は我慢」とか「仕方ない」と諦め感をもってしまうことは思う壺です。

会社は、コロナ禍の惨事に乗じて施策を一気に進めるため「変革のスピードアップ」を発表しました。赤字経営の中でも、積極的な設備投資を行う一方で、現場にはコストダウンスタンプラリーを用いて『コスト削減』を強く求めています。

- ・白手袋や制服などの定期貸与の見直し
- ・10年表章の削減
- ・リネン類の見直し、取り扱い変更
- ・研修や訓練受講時の食事の変更
- ・除草作業の委託費削減 など、挙げればキリがありません。

必要なコスト削減は否定しません。しかし、コスト削減の目標達成を通じて物を買ったり、委員会活動を増やしたり、無駄な改良工事の実施や意味不明な褒賞が行われる等、現場でのコスト削減によって生み出されたお金が、明らかに間違ったところに使われています！

人に投資しない会社には未来はない！